

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>アキュライン・プレミアム 2015</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.052</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アキュライン・プレミアムリミテッド**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **5** インチ

MB **4in1/2**

**比較対照ボール：アキュライン・プレミアム 2015**

フレアーの幅  インチ

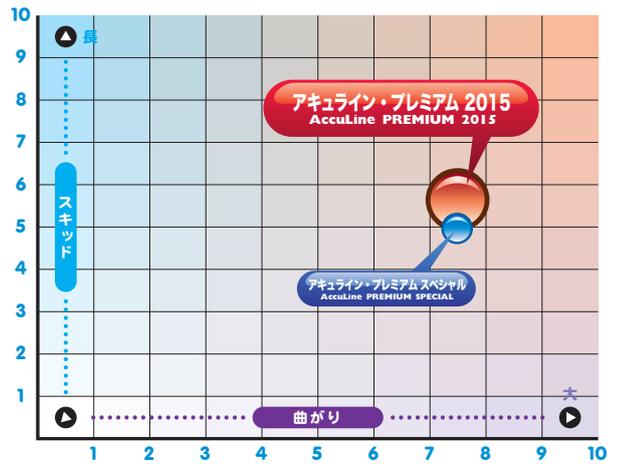
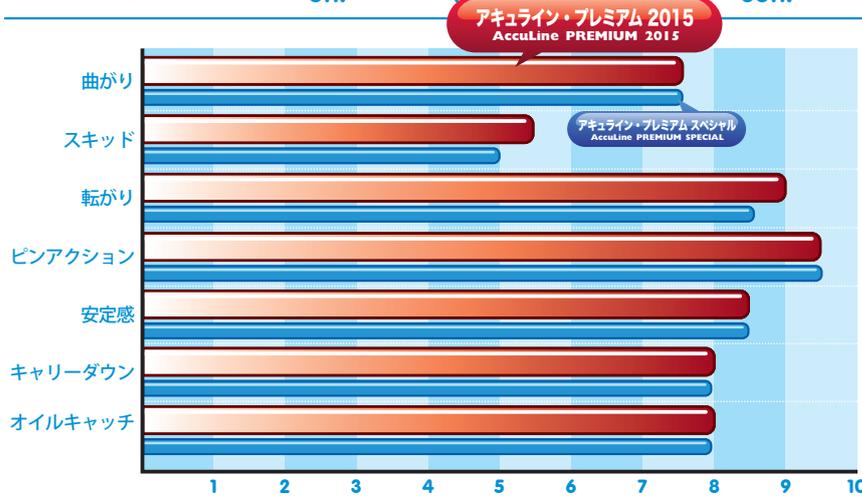
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **5** インチ

MB **4in1/2**



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

Accu-Line Premium 2015。このボールを開発するにあたり、久々にAccu-Lineシリーズに使用した”AVEX Coverstock”をテストすることができました。同じPremium Coreは使ってもReactiveで構成されたJAPAN PRIDEやABSolution Russetはありましたが、こうやってAccu-SwingのNanoxやAccu-RollのNanoflexでもないナノデスの原点ともいえるAVEX Coverstockを再び採用できることは、開発にとって「後退ではなく、更なるPerformanceの構築」であると思います。今のナノデスにはない性能、良いものだけを世に送り出す。そんな拘りがこのAccu-Line Premium 2015に込められています。

投球して感じたことは、AVEXでも最終に近いCoverstockでも今のNanoflexと比べると心地よくスキッドすると思えました。オイルに弱い訳ではなく、パワーをbackendに温存するというか、そのスキッドが生きて爽快なスキッドとフリップなbackend Reactionが「これぞPremium」という表現に相応しい出来です。当時のPremium CoreのRG:2.46、△RG:0.052、MB:0.0139のスペックで転がりの良さや柔らかくキレルイメージ、そしてナノデス特有の衝撃吸収システムのピンアクションとナノデスブランドは一点の曇りもありません。

フランチャイズのコンディションで投球していると大幅に大きく曲がってくれるボールというよりも、やや走り系の性能でbackendが激し過ぎないReaction形態がスコアメイクには重要だと思います。

今のナノデスより若干パワーを抑えてあるこのAccu-Line Premium 2015が効率よく、かつ絶大な性能を発揮してくれるでしょう。

### 特記事項

**Blue/Purple Red/Purple Redpearlの今までにないマルチカラーです。歴代のナノデスファンはこのボールを見逃してはいけません。**